



## 男子ソフトボール部インターハイ出場！

私たちソフトボール部は、8月3日に福井インターハイに出場しました。今年にはコロナ禍ということもあり、検温やアルコール消毒と感染対策も徹底的に行われました。初戦、広島県立御調高校と対戦し、結果的には10-1で敗れてしまいました。改めて全国の強さと自分たちの実力やチーム力不足を実感しました。

緊急事態宣言により三重国体もなくなってしまったため、3年生は引退となります。悔しさの残る経験となりましたが、この大舞台での経験が選手全員のこの先の人生にとって一番の収穫だったと思います。3年生は自分の目標に、1・2年生は次の全国大会に向けて精進して行ってほしいです。

最後になりますが、今回の大会の運営並びに送迎・応援してくださった方々に深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。(3年6組 平塚尚大 不動堂中出身)



## ミニ国体(剣道少年女子)に参加して！！

私は、8月21日に山形県寒河江市で開催されたミニ国体に、宮城県代表として出場することができました。各県代表選手とのレベルの高い試合だったため、極度の緊張感がありましたが、集中を切らすことなく試合することができました。私はチームの副将として参加し、1勝4分けと負けることはありませんでしたが、勝つべきところでポイントを上げることができない、という自分の未熟さを改めて実感しました。しかし、ほとんどの種目の東北大会が中止されてしまう状況の中、このような大きな舞台に立てたことや、他校の選手とチームを組んで切磋琢磨できたことは、本当に良い経験となり、掛け替えのない思い出となりました。これまで支え、応援してくださった方々、さらにコロナ禍の中、大会を開催してくださった全ての方々に感謝いたします。この経験を活かし、さらなる目標に向かって日々精進していきたいと思います。(3年4組 竹村 楓香 古川中出身)



## 合唱部 東北大会出場(輝け!古高サウンド)



私たちは8月28日に開催された、第73回全日本合唱コンクール宮城県大会に出場しました。繊細で美しいハーモニーを作り上げるために、強弱やタイミング、響きや発音など、細かいところまで何度も何度も修正を繰り返し、声が響く感覚をつかむために階段の踊り場や多目的ホール、蛍雪会館3階、大崎市民会館など音楽室以外で練習することもしばしばありました。大会の直前に開催が危ぶまれ、音源審査になるかもしれないという連絡が入り、いつも明るい部内が悲痛な空気に包まれました。しかし前日に開催が決まり、先輩方と一緒にステージに立つことができ、しかも金賞(3位)で代表3校に入り、東北大会に進むことになりました。東北大会の直前まで第2回考査があるため、勉強と部活の同時進行で力を入れなければなりません。これまでの努力を無駄にしないよう、精一杯努力したいと思います。(2年4組 近江若葉 古川東中出身)

## 古高オープンスクール実施！

去る7月30日（金）に、本校のオープンスクールを実施しました。コロナ禍の開催となりましたが、当日は503名の中学生が参加してくれました。2つのグループに分けて、第一体育館での全体会と教室を使つての懇談会を実施しました。いずれも本校生徒が運営に携わり、参加した中学生と積極的にふれあうことができたためか、古川高校への親近感が増したようです。実際に終了後の中学生の感想はおおむね好評でした。中学生の感想としては、「生徒会の方、卒業生、先生方の話を聞いて、部活や勉強など自分を高めていける学校で、とても魅力的でした。」「卒業生の話を聞いて、古高に入ってよかったと思える学校だと知り、また良さを知れました。」「卒業した後の進路の説明が気になっていて、説明してもらえてよかったし、入りたいと思いました。」などがありました。



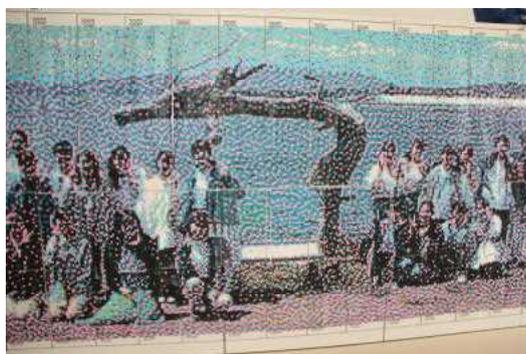
## 新たな古高祭への第一歩



今年の古高祭は、前年度と同じくコロナウイルス感染流行の影響を大きく受けることとなりました。コロナの感染流行が収束し、例年通りの、規制のない古高祭が行えることを願い準備に取り組んできましたが、願いは届かず、感染症対策に加え、一般来客の制限などを行わざるを得ませんでした。しかし、この特殊な状況だからこそ、これまでにない新たな古高祭を創り上げることを目標とし、どの年代にも負けないほどの

努力ができました。今年初めて実施したクラスロッカー装飾や、全校制作モザイクアートは、古高祭を全員で創るという一体感を生みました。全校生徒、先生方のおかげで古高祭を大成功で終わらせることができました。本当にありがとうございました。

（3年1組 岩渕 透矢 築館中出身）



## 吹奏楽部定期演奏会開催！！



去る5月23日、大崎市民会館にて第53回定期演奏会を行いました。コロナ禍ということで、観客数の調整をはじめ、発声を伴う演出を控えたり、また学校での練習時間の制限があったり等、思い通りにいかないことも多くありました。それでも試行錯誤を続

け何とか迎えた本番では、2年振りの開催にふさわしい、新しくも力強い古高サウンドをお届けできたと思います。開催にあたり、ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。（3年1組 阿部悠佳 金成中出身）

